

ふじみ

市議会 だより

No. 165

平成27年第5回(9月)定例会<会期日程>

9月1日・4日

本会議

開会 会期の決定
請願・陳情の委員会付託
議案内容説明
議案審議 報告
議案及び補正予算の総括質疑
決算議案の総括質疑
議案の常任委員会付託

8日・9日・10日

11日・24日

常任委員会
予算決算常任委員会

議案及び請願・陳情の
審査
予算決算議案の審査

14日・15日・16日

17日・18日

本会議

市政一般質問

29日

本会議

委員会審査報告及び採決
議員提出議案審議
埼玉県後期高齢者医療広域連合議会
議員選挙
閉会



秋のびん沼川 平成27年10月撮影

平成26年度の決算審査行われる

平成27年第4回(8月)臨時
会が、8月7日に行われました。
今臨時会では、工事請負契約
の締結議案及び公平委員会委員
の選任の2議案が市長から提出
され、すべて原案のとおり可
決・同意しました。

また、平成27年第5回(9月)
定例会が、9月1日から9月29
日まで行われました。

今定例会では、平成26年度の
一般会計決算議案を初め、国民
健康保険など、5つの特別会計
決算議案と、水道・下水道事業
の企業会計決算議案の計8つの
決算議案を予算決算常任委員会
の3つの分科会で審査しました。

決算議案以外では、富士見市
個人情報保護条例の一部改正、
富士見市行政手続条例の一部改

正、平成27年度一般会計補正予
算など、全部で21件の案件が市
長から提出され、審査の結果、
決算議案を含め、すべて原案の
とおり可決、認定しました。

議員提出議案8件については、
「ヘイトスピーチ対策に係る法
整備と対策強化を求める意見
書」、「PPP(環太平洋戦略
的経済連携協定)交渉から撤退
することを求める意見書」、
「所得税法の寡婦(夫)控除規
定の改正を求める意見書」と
「川内原発の再稼働に抗議する
決議」の4件を原案のとおり可
決し、4件を否決しました。

9月14日から18日まで行われ
た市政一般質問には17人の議員
が登壇し、執行部の考えをただ
しました。

平成27年第4回(8月)臨時会・第5回(9月)定例会 審議結果

議案等 番号	件名	議案等 番号	件名
52	富士見市公平委員会委員の選任について	67	平成26年度富士見都市計画事業鶴瀬駅東口土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算認定について
54	富士見市行政手続条例の一部を改正する条例の制定について	70	富士見市道路線の認定について
57	平成27年度富士見市国民健康保険特別会計(事業勘定)補正予算(第1号)	請願1	つるせ台小学校のグラウンドの土ぼこりの解消を求める請願
58	平成27年度富士見市介護保険特別会計補正予算(第2号)	議16	ヘイトスピーチ対策に係る法整備と対策強化を求める意見書の提出について
59	平成27年度富士見市下水道事業会計補正予算(第1号)	議18	所得税法の寡婦(夫)控除規定の改正を求める意見書の提出について
60	平成27年度富士見都市計画事業鶴瀬駅西口土地区画整理事業特別会計補正予算(第1号)	※「報告」については採決の対象ではありません。	
61	平成27年度富士見都市計画事業鶴瀬駅東口土地区画整理事業特別会計補正予算(第1号)	報告8	平成26年度富士見市水道事業会計継続費精算報告書について
65	平成26年度富士見市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算認定について	報告9	平成26年度富士見市土地開発公社決算について
66	平成26年度富士見都市計画事業鶴瀬駅西口土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算認定について	報告10	平成26年度公益財団キラリ財団決算について

議案等 番号	議案等の名称	審議結果	賛成 ○ 反対 ×																						
			21・未来クラブ					草の根				公明党		日本共産党			ネ	絆							
			田中栄志	齊藤隆浩	吉田和江	吉野欽三	関野兼太郎	尾崎孝好	今成優太	勝山祥	伊勢田幸正	八子朋弘	金子勝	津波信子	深瀬優子	加藤清	篠田剛	大谷順子	寺田玲	小川匠	川畑勝弘	加藤久美子	根岸操		
51	工事請負契約の締結について	原案可決	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
53	富士見市個人情報保護条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	
55	富士見市手数料条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	
56	平成27年度富士見市一般会計補正予算(第3号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	
62	平成26年度富士見市一般会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	
63	平成26年度富士見市国民健康保険特別会計(事業勘定)歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	
64	平成26年度富士見市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	
68	平成26年度富士見市水道事業会計の利益及び資本剰余金の処分並びに決算の認定について	可決及び認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	
69	平成26年度富士見市下水道事業会計の利益及び資本剰余金の処分並びに決算の認定について	可決及び認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	
陳情5	富士見市立中央図書館、ふじみ野分館の指定管理を廃止し、直営にすることについての陳情	不採択	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×		
陳情6	富士見市労働団体福祉活動補助金を受領している団体が、富士見市長選挙に候補者を擁立した政治団体に対して支出を行っていた事に鑑み、同補助金の見直しを求める陳情	不採択	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×		
議14	富士見市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	否決	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	×	
議15	『災害ボランティア割引制度』の実現を求める意見書の提出について	否決	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	×		
議17	PPP(環太平洋戦略的経済連携協定)交渉から撤退することを求める意見書の提出について	原案可決	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○		
議19	川内原発の再稼働に抗議する決議について	原案可決	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○		
議20	消費税の10%増税中止を求める意見書の提出について	否決	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○		
議21	安全保障関連法を国民の納得を得ることなく成立させたことを憂慮する決議について	否決	×	×	×	×	×	×	○	○	×	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○		
選挙8	埼玉県後期高齢者医療広域連合議会議員選挙	(選挙結果) 松本政義氏11票、並木敏恵氏10票、松本徹氏0票、田中克美氏0票																							

※表中、会派の「ネ」は富士見市民ネットワーク、「絆」は市民の絆を省略し表記しています。 ※表中、議案等番号の「議」は議員提出議案です。 ※議長は賛否表明は議長を除く議員の賛否が同数の場合のみです。

市議会議員の年賀状・暑中見舞状・祝金等寄附行為は、法律で禁止されております。皆様のご理解をお願いします。

9月14日・15日・16日・17日・18日の5日間にわたり17人の議員が、市民生活に関わる諸問題をはじめ、富士見市の将来を見据えた課題や施策等市政一般について、市長・教育長等の考えをたどりました。ここでは、定められたスペースで質問者が執筆した原稿を掲載しました。

市民生活・環境などで活発な発言

齊藤 隆浩(21・未来クラブ)

①当市を広くPRする表示板について
○ 公共施設の壁面を利用した看板の設置は。

○ キラリ☆ふじみ付近はPRフラッグを作成し、市民体育館壁面は今後検討します。

②教育環境の充実について
○ 家族との触れ合い、心豊かな醸成の時間を生むための「ノーゲームデー」の実施は。

○ 5daysチャレンジの中で、学業や生活に影響がないよう適正な使用を進めます。

○ 昨年度から配置された、スクールソーシャルワーカーの現状は。

○ 家庭内の要因から起こる様々な問題の解決に向け、学校・ふれあい相談員等と連携を図る。事例として不登校児童生徒本人や保護者への支援策の検討等を行っています。

③消防団の活性化について
○ 団員不足が顕著だが、募集のためのフォローは。

○ 庁内では新入職員研修で消防団のPRを実施。入団しやすく、活動しやすい環境を整備し、広報やホームページなどを活用し支援します。

心ふれあう安心のまちづくり
関野 兼太郎(21・未来クラブ)

①安心安全のまちづくりについて
○ 10月31日の富士見市総合防災訓練は、市民と行政が防災意識を共有する絶好の機会である。一過性ではなく次につなげる意味ある訓練とするために、各小学校の訓練をどう把握し評価するのか。

○ 町会長へのアンケートや職員の見学を受け検証する。

②新学期を迎えて
○ 子どもたちを危険から守るために、学校と家庭の危機感の共有が求められるのでは。

○ 学校だよりや保護者会、家庭への通知で図っていく。

○ 下校時の交通安全について、以前答弁いただいた、シルバー人材センターとの契約についての検討結果は。

○ 下校時の交通指導員の配置が可能か検討するとともに、その際にシルバー人材センターへの委託も検討していく。

③接遇のありかたについて
○ 市民への職員の接し方について、始業時に確認を。

○ 朝礼の実施や課内会議等で満足度が高い接遇を図る。

篠田 剛(公明党)

①国際交流の推進について
○ 新たな姉妹都市、韓国や中国などへの取り組みは。

○ 現在特に予定していない。

②市民総合体育館の整備・改修方針について
○ スケジュールについて。

○ 設計費の補正予算が可決後、今年度内に実施設計を行う。来年度当初予算に工事費を計上し、翌年3月までに工事を完了し、4月に再開を想定している。

○ 新たな広告や施設命名権による収入について。

○ 自主財源の確保は、市全体としての課題であるので、今後研究していく。

○ 整備・改修方針について、パネル展示や模型展示など市民に解りやすい取り組みを。

○ 視覚的に伝える点で有効と考え、今後研究していく。

③市の認知度向上に向けて
○ 市外や県外から大勢来ている市役所周辺の交差点に本市のPRのために検討を。

○ 交通量の多い交差点については、市の認知度及び道路利用者の利便性向上を図るため、看板の設置を検討する。

田中 栄志(21・未来クラブ)

①上下水道施設整備の今後の対応について
○ 老朽化対策は。

○ 水道は機能維持や延命化を図り、施設更新を計画的に行う。下水道も資金計画や、点検修繕履歴などのデータベース化を図る必要がある。

○ コンセプション(公共施設等運営権)方式の導入検討としてはどうか。

○ 様々な手法と併せて、先進事例等を参考に研究したい。

②道路の安全対策について
○ 冠水対策について。

○ 排水能力を超える対応には苦慮しているが、計画的に浸水対策を進めている。

○ 交通の支障となる越境物等に更なる対応を。

○ 交通事故防止の観点から、所有者に対し、注意、指導を続けるとともに、他市の有効な対応事例の情報収集を行う。

③選挙公報について
○ 選挙結果確定後の取り扱いは。

○ 掲載基準を設け、次回市長選挙の公報から、投票日以降の市ホームページへの掲載のため所要の準備を進める。

川畑 勝弘(日本共産党)

①生活困窮者自立支援事業と生活保護行政について
○ 今年度から「生活サポートセンター☆ふじみ」の相談窓口が開設。就労支援、学習支援など利用者に寄り添った制度を来年度、更に充実するために相談者とともに家計のやりくりを考える家計相談支援事業を充実してはどうか。

○ 相談者が家計の課題に気づき、自ら管理する意欲を引き出すことは重要。個別支援プランの推進と共に進める。

○ 生活保護を受けようとする人が「住む所がない」という人のために地域の不動産業者と連携し住む場所を探す制度(住宅支援事業)の活用を。

○ 推移を見て検討する。

②空き家の今後の課題は
○ 老朽化した賃貸住宅や共同住宅の空き家のリフォームに対して市が補助を行い、市営住宅として低額で貸し付けることができないか。

○ 耐震性など考えると市営住宅は出来ない。

○ 空き家再生等推進事業などの補助を活用してはどうか。

○ 全庁的に連携し検討する。

小川 匠(日本共産党)

①18歳選挙権の導入と市の取り組みについて
○ 18歳選挙権の意義は大きい。市の認識は。

○ 未来を担う若い世代が参政権を得ることは、民主主義をさらに深め、若者の声を政治に反映できる仕組みであることから大きな意義がある。

②歴史文化を生かす街づくり
○ 市の文化財の総合的な保存・活用のために「歴史文化基本構想」の策定を。

○ 水子貝塚・難波田城跡などの保存・活用のためには重要。現在市内文化財を把握するため「文化財総合目録」を作成中。「基本構想」についてはさらに情報収集を進める。

③高齢者が安心できる街に
○ 特養など介護施設での食費・住居費補助を受けるために預貯金が動員され、通帳のコピー提出など資産調査が必要となったが市民への影響は。利用者にとって大きな変化であり電話や窓口にくさくさの問い合わせがきている。

○ 国や県へ利用者の声を届けるべき。

○ 国・県等へ意見を伝える。

寺田 玲(日本共産党)

①非核平和の取り組みについて
○ 夏休みの期間、公民館で原爆パネルの展示を。

○ 親子で戦争について話すきっかけになる。検討したい。

②子どもの貧困問題解決の取り組み
○ 乳幼児の相談体制充実のために、健康増進センターの正規保健師の増員を。

○ 計画的に増員して適正配置に努めている。

○ 朝霞保健所管内で富士見市は保健師の数が一番少ない。同じ人口規模のふじみ野市は母子保健に関わる保健師は正規8人、非正規3人である。富士見市は何人か。

○ 正規4人、非正規2人。複雑な相談も増加してきており、専門性、継続性が求められる。早急に増員を。

○ 話を聞きながら適正な職員を採用していきたい。

③公園について
○ びん沼自然公園でパークユニーが出来る様に、他市を参考に前向きに検討を。

○ 以前は認めていたが、ゴミの放置が多く禁止した。

大谷 順子(日本共産党)

①空の安全とオスプレイ
○ オスプレイの役割は危険な軍事攻撃用の輸送。本来の役割と訓練で起こりうる被害を市はどう把握しているのか。

○ 災害救援活動で能力を発揮すると考える。オスプレイの飛行航路下で不安にさらされていることも認識。安全飛行と事故原因の究明については近隣自治体と連携し県基地対策協議会ほかあらゆる機会を通じて求めていきたい。

○ 横田基地配備に反対を。国がオスプレイの安全飛行の徹底と機体の安全性について説明するべきと考える。

②生活保護事業の改善を
○ 市の間違いによる超過支給で返還金が生じ、受給者の生活を圧迫している例がある。生活保護法での返還・徴収は「63条資力あるのに受給」や「78条不実な申請」の時だ。いずれにも該当しないのになぜ返還させるのか。返還免除規定を適用するべきだ。

○ 最低生活を営む上でやむを得ない支出があった場合は免除を勘案する必要があるが基本的に返還を求めている。

根岸 操(市民の絆)

①防災行政無線放送について
○ 長崎原爆の日の黙とうを呼びかける放送が、知事選の放送で一部に流れなかったが。今後、同様のミスが起こらないよう確認する。

②鶴瀬地域の交通について
○ 東西口を結ぶ道路は。

○ これまでも様々な検討をしてきたが、難しいものと考え。駅両端の踏切は、今年度中に拡幅する。

○ 県道ふじみ野朝霞線(谷津幼稚園交差点)に右折信号機設置を。

引き続き強く要望する。
○ 隈川写真館脇交差点に横断歩道の設置を。

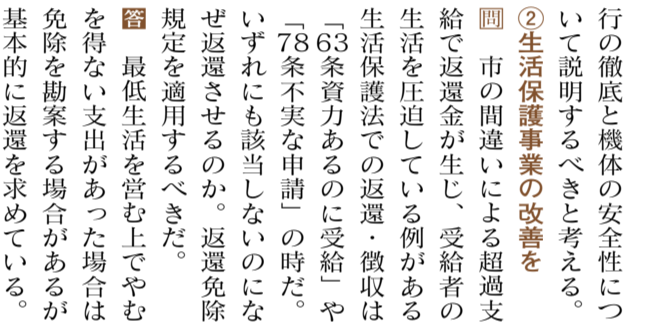
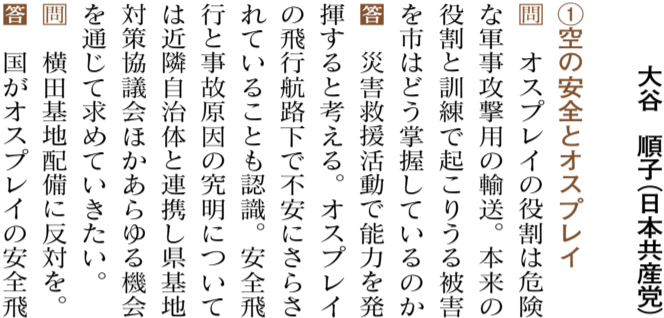
○ すでに定周期式信号機設置の協議は整っているが、先行して横断歩道の設置ができるよう協議していく。

③学校内施設について
○ 校庭の土ほり対策に、スプリングラーの設置は。

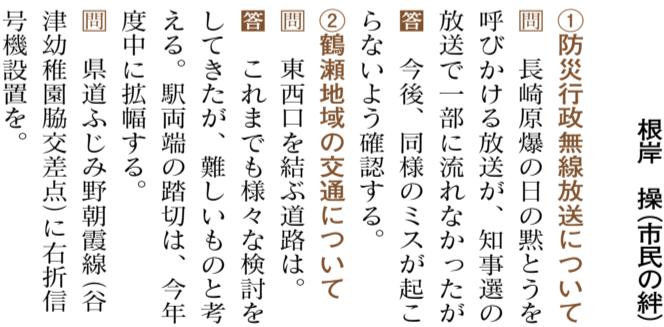
○ 費用的には掛かるが、有効な手段としては理解する。
○ 鶴瀬小防球ネット増設を。
○ 学校開放での利用の中で、事故が起きているのであればよく検討したい。



全市一斉に行われた総合防災訓練



わかりやすい看板の増設



10周年を迎えたつるせよさこい祭り

①女性の安心できる生活を支援するために

○女性の意向把握で、第3次プランの中間年の見直しは、

○公募市民、団体推薦委員、男女共同参画確立協議会委員とともに取り組む。

○人口減少に向かい、女性施策の方向性は、

○豊かさを実感できる環境で男女が共に自立が可能になるように目指す。

②今後の商業活性化への市民の期待を生かすために

○第2次ビジョンに市民、消費者の視点が反映されたか。

○市民モニター事業、シンポジウムの意見を反映。

○さらに市民との協働は、地域の活性化を市民と協働で事業を推進していく。

③子供の安全・安心な日常の確保について

○新制度で職員不足、施設の過密化解消への認識は、

○2名職員増。子供の数は日により減少があり対応可能。

○多様な子育ての新たな受け皿づくりの考えは、

○現状の市の子育ての支援体制を維持させる。

①「18歳選挙権」成立で有権者に対する市の取り組みは

○「18歳選挙権」による新たな有権者数の見込みは、

○約200人が新たな有権者として増える見込み。

○新有権者が多用しているSNS(ソーシャル・ネットワークキング・サービス)による選挙運動について。

○ライン・ツイッター・フェイスブックなどのSNSは有権者の活用が可能。電子メールは候補者及び政党等に限定される。

②深夜の市営駐輪場の節電について

○市営駐輪場1年間の電気料金は、

○みずほ台駅東西口、鶴瀬駅東西口、ふじみ野駅東西口の合計は67万493円。

○利用者の少ない深夜の消灯について。

○最終電車利用者の利便性や安全面に配慮。また、消灯は監視カメラの映像にも影響が出る。安心安全面の観点から深夜の消灯は難しい。今後LED化等の方策も含め検討していく。

①成年後見制度の促進を

○「成年後見センターふじみ」の現状は、

○平成25年10月に開設以後相談件数は98件。相談内容は申立手続きのやり方を含む利用に関することが多い。

○市民への理解を拡大することに努めている。

○市と成年後見センターふじみでの出前講座や、高齢者あんしん相談センターの権利擁護事業としての利用促進を行っている。

②健康づくりの推進を

○糖尿病の重症化防止への取り組みに薬局の簡易検査を活用することについては、

○埼玉県糖尿病重症化防止事業に、平成28年度に県内全域の薬局に普及させる方針がある。地元医師会や薬剤師会とも協議検討していきたい。

○ヘルスケアポイント(健康づくりを楽しみながら特典が付与される)の導入は、

○平成28年4月から事業の実施が努力義務とされている。国のガイドラインを踏まえながら進めていきたい。

①福祉を身近に感じるために

○11月11日は介護の日でもあるが、介護の認知度を上げるための事業を行っては、

○検討する。

○小中学生を対象に認知症サポーター養成講座を行ってはどうか。

○国のほうからもそのような通知が来ているので教育委員会と連携して検討したい。

②地域の課題を考える取り組みについて

○大学生が商品開発から携わり、大手コンビニから発売になるなど活躍が目まじしい。こうした取り組みについてはどう考えるのか。

○産業振興などに有効。

○地域の課題解決を大学の研究室に依頼する取り組みもあるがどう考えるのか。

○研究していきたい。

③富士見市の魅力について

○本市の魅力をどのように考えているのか。

○地域の魅力を発掘、発信(健康づくりを楽しみながら特典が付与される)の導入は、

○平成28年4月から事業の実施が努力義務とされている。国のガイドラインを踏まえながら進めていきたい。

①市民総合体育館について

○建て替えずに、屋根架け替え工事を選択したが、再開までの流れは、

○今年度中に設計を完了し、来年度から工事。完成は平成29年3月の計画である。

○体育館利用団体は会場の確保ができず、活動に苦慮している。他市にも協力をお願いしている。

○現在も他市との連携をお願いしているが、より確保できるように努力していく。

○東京五輪に向け「海外代表の合宿誘致」との新聞記事が出ていた。成功してほしいと思うが、進捗状況は、

○まだ取り組んでいない。

○もう時間がない。早急に組織委員会等を組んで取り組むべきであると思うが見解は、

○施設等の基準がクリアできれば、本格的に取り組みしたい。

②魅力あるまちづくりを目指す

○毎年、ふるさと祭りが行われているが、既に10年が経過し、マンネリ化は否めない。ゼロベースで見直しては、

○検討をしていく。

①選挙事務について

○4月の県議選、8月の知事選と選挙公報をポスティングで全戸配布する取り組みがなされたが、市民へは各世帯に郵送される投票所入場券に小さく印字されているのみであった。これでは方が一、配布漏れ等があっても、全戸配布を知らないのでは市に連絡しようがない事例も出てくるのでは。改善を。

○広報の「選挙特集号」や市ホームページでは周知はしていない。今後施行される選挙については選挙特集号やホームページで周知を図っていききたい。

②ピアザ☆ふじみについて

○福祉喫茶は現状、平日のみオープンだが、障がい者の雇用確保や利用者の利便性向上から土日のオープンについてはどう考えるのか。

○運営を委託している社会福祉法人は、支援員等の人的支援体制の充実等が課題で、引き続き体制作りの検討をしていききたいと聞いている。市としては、土日のオープンもお願いしたいと考えている。

①投票率向上に向けて

○本市の投票所の設置基準はどうなっているのか。

○国の示す基準を参考に、投票所までの距離が3km以内の公共施設に設置している。

○高齢者の方を中心に、投票所までの距離が遠いとの声を頂くが、それも低投票率の一因ではないのか。

○距離の問題は個人の感覚にもよる。また、東大久保地区を含む南畑投票所は、投票所まで距離があるが、投票率が高いので一概には言えない。

○主に若年層対策として、さらばと富士見に期日前投票所を設置する事の検討は、

○まだ検討はしていないが、事業者と協議を行ってみたい。

②健康長寿埼玉プロジェクトについて

○近隣の三芳町、ふじみ野市、志木市等はプロジェクトに参加し、県の有利な補助金を受けており、出遅れ感が否めない。来年度には参加すべきではないのか。

○健康増進計画策定の審議会の中で協議して頂き、方向性を出していければと思う。

①人事院勧告について

○勧告に準拠の方針ながら昨年度の勧告にあった50歳代後半職員の給与ダウンは未実施で、民間より高水準にある。遅れているが実施したい。

○人事院は本年度も昨年同様公務員給与等のアップを勧告。これに準拠するならば50歳後半職員の給与ダウンも実施すべき。都合の良いものだけ準拠では問題ではないか。

○今、組合と交渉中である。

②入札制度について

○国が指導する「総合評価方式」の導入が少ない理由は、

○まだ試行段階との判断。

○適正な設計価格をカットし予定価格を決める「歩切り」に対し、国は長く廃止を求めてきた。一方、本市は一昨年度まで続けてきた。理由は、

○他市もそうであったので。

③町会の規約等について

○町会運営にも民主的な手続きと透明性が求められる。規約に総会の定足数や議決等を整備すべき。市はひな形の提示等のサポートをしては、

○町会の意向を尊重し、町会長連合会等にも諮っていく。

議会を傍聴しませんか

(9月定例会の傍聴者数は146人でした)

富士見市議会では、本会議及び委員会が公開となっています。市民の皆さんの代表である議員の活動や審議の状況を直接傍聴してみませんか。議会事務局で住所・氏名を記入し、傍聴券を受け取り傍聴席に入ることができます。

また、手話通訳を希望する場合には、早目に事務局へお知らせください。なお、ご希望の日に対応できない場合もありますので、あらかじめご了承願います。

次回定例会のご案内

11月24日(火) 開会の予定です。

《議会事務局》電話 049-251-2711 内線165・166

FAX 049-255-9637

メールアドレス gikai@city.fujimi.saitama.jp

議会映像をインターネットで配信中!

ライブ中継 本会議を生放送
録画映像 会議終了後1週間程度で配信

議長の公務記録や政務活動費の領収書などの議会の情報もホームページで公開しています。

富士見市議会

検索

とクリック。

表紙写真を募集

議会だよりの表紙写真を募集しています。下記の要領でご応募をお願いします。

- ◆カラー写真
- ◆被写体のテーマ『私が選んだ富士見市百景』
- ◆写真(2L版)か写真データ
- ◆受付は随時行っています。

*写真、データは返却いたしません。
*写真のタイトル・撮影年月・場所を明記

◆送付先 〒354-8511

富士見市大字鶴馬1800番地1

富士見市議会事務局 あて

電話 049-251-2711 内線165・166

FAX 049-255-9637

メールアドレス gikai@city.fujimi.saitama.jp

◇採用の方には、富士見市の特産品を贈呈します。

8月臨時会 議案審議報告

議案第51号

工事請負契約の締結について(防災行政無線デジタル化工事)

(賛成多数可決)

《請負業者・請負金額》

株式会社富士通マーケティング

株主 関越支社

〔2億5675万3800円〕

議案第52号

富士見市公平委員会委員の選任について(全会一致同意)

平成27年4月1日以来空席となつている富士見市公平

委員会委員に五十嵐清氏を、

9月定例会 議案審議報告

議案第53号

富士見市個人情報保護条例の一部を改正する条例の制定について(賛成多数可決)

行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律(いわゆるマイナンバー法)の施行等に伴い、富士見市個人情報保護条例の一部を改正するもので

す。

《主な内容》

①「特定個人情報」(個人番号を含む個人情報)、②「情報提供等記録」(情報提供ネットワークシステムに接続された電子計算機に記録された特定個人情報)、③「保有特定個人情報」(当該実施機関が保有している特定個人情報で、公文書に記録されているもの)を定義づけ、また、その取扱いについて明記。

〔平成27年10月5日施行〕

決算議案に対する各会派の討論

平成26年度の一般会計
他7会計の決算は、議員全員で構成された予算決算常任委員会に付託されました。審査にあたり、総務、文教福祉、建設環境の3分科会を設置し、各分科会において審査しました。

本会議最終日には、予算決算常任委員会委員長が委員会審査報告を行った後、質疑、討論、採決を行いました。

ここでは、一般会計決算について、定められたスペースで各会派が執筆した原稿を掲載しました。

公明党 (認定)
平成26年度の歳入は過去最大の税収規模となり、歳出では、ピアザふじみの整備、民生費や社会保障、子育て関連経費の増加などを要因に過去最大の歳出決算額となった。自主財源の確保や経費削減に努め、限られた財源の中で様々な施策が展開された。今後、少子高齢化が急速に進む中で、災害への備えや、本市の環境の変化にも柔軟に対応し、より一層市民ニーズを的確にとらえた行政運営を要望し、認定とする。

草の根 (認定)
何点か申し述べ認定とする。平成26年度決算は、実質収支比率が平成25年度決算に引き続き、望ましい比率に収まった事を評価したい。次に企業会計への補助について、独立採算である事を認識し、過大な補助が認められた場合は、速やかに一般会計に戻すべきである。また、監査のあり方については、平成25年度決算不認定を重く受け止め、速やかに改善がなされるべきであった。様々な指摘を来年度予算編成に反映してもらいたい。

議案第54号
富士見市行政手続条例の一部を改正する条例の制定について (全会一致可決)
行政手続法の一部改正等に伴い、富士見市行政手続条例の一部を改正するものです。
〔1900万円〕
市民総合体育館サブアリーナ棟の改修工事を行うための設計委託を実施するための補正。
〔1700万円〕
平成28年度より病児保育事業を実施予定の医療法人に対し、開設準備経費の一部を補助するための補正。
〔400万円〕
男女共用となっている放課後児童クラブのトイレを男女別化する改修工事を行うための補正。
〔1197万9000円〕

議案第55号
富士見市手数料条例の一部を改正する条例の制定について (賛成多数可決)
マイナンバー法の施行等に伴い、富士見市手数料条例の一部を改正するものです。
〔490万1000円〕
後期高齢者支援金等支払額の確定に伴う補正。
〔258万3000円〕

議案第56号
平成27年度富士見市一般会計補正予算(第3号) (賛成多数可決)
既定の予算に510万7000円を追加し、予算の総額を32億6103万3000円とするものです。
〔主な内容と金額〕
・市民総合体育館メインアリーナ屋根等の復旧工事に係る設計委託を実施するための補正。
〔1900万円〕
・市民総合体育館サブアリーナ棟の改修工事を行うための設計委託を実施するための補正。
〔1700万円〕
・平成28年度より病児保育事業を実施予定の医療法人に対し、開設準備経費の一部を補助するための補正。
〔400万円〕
・男女共用となっている放課後児童クラブのトイレを男女別化する改修工事を行うための補正。
〔1197万9000円〕

請願・陳情審査報告
《文教福祉常任委員会》
請願第1号
つるせ台小学校のグラウンドの土ぼこりの解消を求める請願
請願者 栗原 慶重 外329人 (採択)
陳情第5号
富士見市立中央図書館、ふじみ野分館の指定管理を廃止し、直営にすることについての陳情
陳情者 鈴木 孝吉 (不採択)
《建設環境常任委員会》
陳情第6号
富士見市労働団体福祉活動補助金を受領している団体が、富士見市長選挙に候補者を擁立した政治団体に対して支出を行っていた事に鑑み、同補助金の見直しを求める陳情
陳情者 永井 由紀子 (不採択)

意見書・決議
ヘイトスピーチ対策に係る法整備と対策強化を求める意見書
一部の国や民族あるいは特定の国籍の外国人に対する差別的表現や言動(いわゆる「ヘイトスピーチ」)が社会的関心を集め、日本国内のみならず、世界の人々からの批判が強まっています。
「ヘイトスピーチ」を放置することは、国際社会における我が国への信頼を失うことにもなりかねません。
よって、国会及び政府に対し、「ヘイトスピーチ」対策に係る法整備を「言論の自由」や「表現の自由」に十分配慮して速やかに行うことを強く求めます。
衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、法務大臣
TTPP(環太平洋戦略的経済連携協定)交渉から撤退することを求める意見書
安倍政権は、TTPP交渉について関係国会に並行する日米交渉で譲歩を繰り返すとともに、関税などをめぐって交渉が遅れているといわれた力
ナダなどにも譲歩を求め、大筋合意をすすめる態度まで表明をしました。
コメの輸入枠拡大にしても、畜産品の関税引き下げにしても、知的財産権の強化や進出企業の権利を守るため各国の主権を脅かすISD条項の設定にしても、国内農業や地域経済に重大な影響を与えるものです。
よって、政府に対し、TTPP交渉から、撤退することを強く求めます。
提出先
内閣総理大臣、防衛大臣、外務大臣、農林水産大臣、経済産業大臣
所得税法の寡婦(夫)控除規定の改正を求める意見書
寡婦控除は、配偶者との死別または離婚した後、再婚していないひとり親世帯で、扶養する子のある人などに適用されるものであり、一定の所得控除が受けられる税制優遇制度であるが、婚姻歴のない非婚のひとり親世帯には適用されていない。
今取り組むべきことは、省エネの徹底と再生可能エネルギーの計画的導入に取り組み、1日も早く「原発ゼロの日本」を実現することである。
ここに、決議する。

日本共産党 (不認定)
2014年度は4月に消費税8%への引き上げ、年金や生活保護基準の引き下げ等に高齢者低所得者は一層困難な暮らしを迫られた。このような社会情勢だからこそ、市民の暮らし福祉を支える役割が自治体に求められている。徴税強化ではなく、払いやすい金額に保育園・放課後児童クラブの増設を。専門職員の増員を。国の方向性をそのまま反映するのではなく、市民の暮らしに寄り添う税金の使い方へ抜本的に転換を求める。

富士見市民ネットワーク(認定)
歳入の市民税に伸びがあるが今後の地方財政の好循環に不安要因が多い。
歳出では、地域包括支援センターの5圏域化など高齢者福祉の充実が図られた。今年度で街路灯の80%がLED化された進捗状況を評価する。公園整備でハケ上緑地公園一体の用地を取得。貴重な斜面林を確保した。
教育費では、読書支援員等の教育環境の充実、水子貝塚公園開園20周年記念事業、復元住居改修など評価する。

市民の絆 (認定)
歳入は、開発行為等の要因で市税が増加した。コンビニ収納も順調に推移し、財源確保も努力され評価する。反面、滞納世帯・生活困窮もあり景気回復の実感が無い。
歳出では、「住みたいまち・住み続けたいまち」を指した施策に対し評価する。歳出の削減は急務であるが、職員の適正確保や「公契約」等の雇用整備も必要である。
今後も自主財源確保には考慮され、不用額の更なる効率的な運用を要望し認定とする。

21・未来クラブ (認定)
1年間の成果を見ながら事業が適正に遂行されたかについて審査しました。歳入では、自主財源確保のため広告収入等の新たな試みもありました。収入未済額と不納欠損額は前年に比べ減少し、収納率の向上も図られ努力が見えました。歳出では、国や県の支出金を有効に活用し、新複合施設「ピアザふじみ」の整備など多くの事業が展開されました。
今後も行政改革を進め、市政運営に取り組むよう要望し認定としました。



市民の声
加納 亜矢子
私には小学生の息子が2人います。最近、PTAの活動を通じて気付いた事があります。それは、地域の方々の子供達を見守る温かい目や、高齢化が進む住民への温かい心遣いなど。私が住む地域には安心安全まちづくり協議会があります。5つの部会に分かれ、各部会が盛んに活動しています。年に4回程、小・中の校長も交えて連絡会議も開催させていただきました。協議する皆さんの真剣な表情を見ていると、心が温かくなります。ご近所付き合いが希薄になっている時代なのかもしれませんが、ここには人と人との繋がりが見えます。わが子に、おじいちゃん・おばあちゃんが増えたような一私にとっては心強い相談相手が増えたような一そんな気持ちもあります。マイペースすぎ?と思う時もありますが、子供達が伸び伸びと成長してくれているのは、温かい心が集まる場所のおかげだと思う今日この頃です。

編集後記
18歳選挙権をきっかけにして成人年齢をめぐる議論が新聞・テレビ等で話題になっている昨今です。さて、富士見市でも次回の市議会議員選挙では、18歳選挙権がスタートします。
今回の議会では、8月の知事選挙の投票率や18歳選挙権の周知などが一般質問で取り上げられました。
この「議会だより」も若い世代に議会の活動を知ってもらえるよう、よりよい紙面づくりに頑張ります。